

English Abstract of D2: JP-U-55-152164

Utility Model

Public Laid-open Disclosure No.: 55-152164

Public Laid-open Disclosure Date: November 1, 1980

Application No.: 54-52654

Filing Date: April 18, 1979

Title of Invention: MATTRESS

Applicant: EIJI AIDA

A mattress according to the present invention is formed in an hourglass shape. The surface of the mattress presents about 10 degrees relative to the horizontal direction. When used, as one surface of the mattress becomes parallel to the horizontal direction, the angle of the other surface presents a steeper angle as shown in Figures 1 and 3. The mattress comprises semi-spherical projections 2 on one side, a corrugated surface on the other side, and through holes 4 for diffusing moisture.

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭55—152164

⑤ Int. Cl.³
A 47 C 27/14

識別記号

庁内整理番号
6746—3B

⑬ 公開 昭和55年(1980)11月1日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 鼓形安楽マットレス

⑯ 考案者 会田英次

広島市東雲本町一丁目1—13

⑰ 実願 昭54—52654

⑰ 出願人 会田英次

⑱ 出願 昭54(1979)4月18日

広島市東雲本町一丁目1—13

⑳ 実用新案登録請求の範囲

このマットレスは第2図に示す如く横断面にした場合に鼓形状となり横中心部の上下を起点として薄く上下とも左右に扇状の直線勾配で両側を厚くしその角度は10度を中心とした前後の適当な角度を算出す、マットレスの片面は半円球のイボ2を全面的に多数浮き彫りにした凹凸面状とし反対の片面は縦に波形状3とし両面を通じて多数の空気孔4を設ける、マットレスは中央の薄い部分で左右に分離出来る様2分しマットレスカバー5

の縦目にチャック6を取付け組合せさす。

図面の簡単な説明

第1図は鼓形が体重によりV形状に変化した斜視図、第2図は鼓形状の横断面図、第3図は第1図のA—A横断面図、第4図は枕受台の斜視図。

1……マットレスの本体、2……半円球のイボ、3……波形状、4……空気孔、5……マットレスカバー、6……チャック、7……枕受板、8……枕ズレ止め板、9……空洞。

第1図

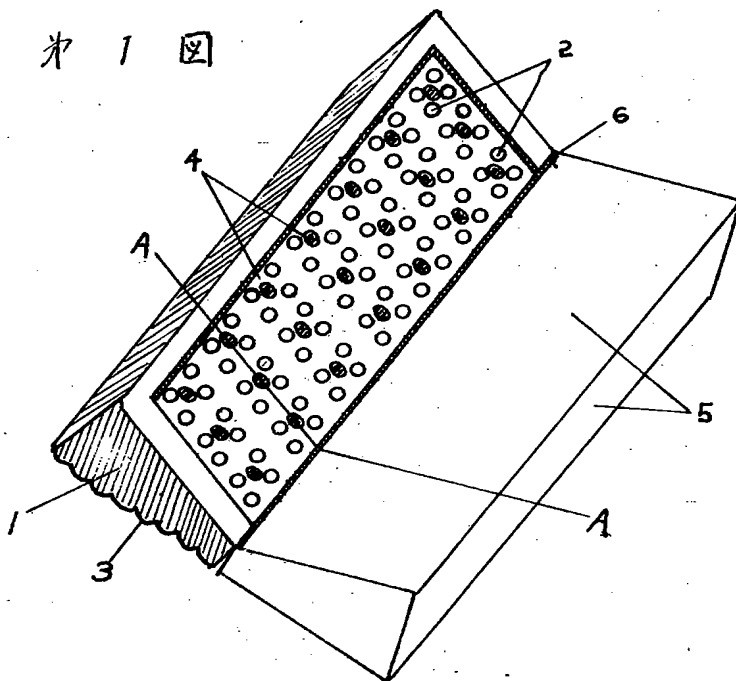


図2

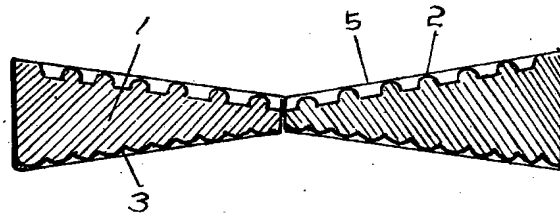


図3

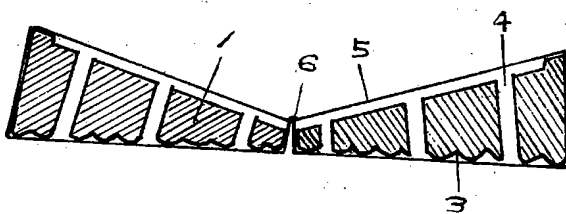
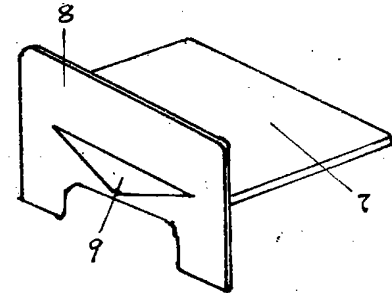


図4





実用新案登録願 (1)

昭和 54 年 4 月 17 日
提出

特許庁長官

殿

- フリガナ ツクシガタアンラク
1. 考案の名称 鼓形安楽マットレス
2. 考案者 実用新案登録出願人と同じ

フリガナ
住所 (居所)フリガナ
氏名

3. 実用新案登録出願人

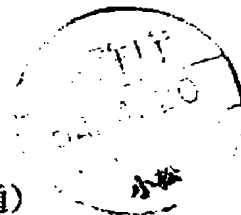
郵便番号

7 3 4 - □ □ 電話 0822-61-3270

フリガナ
住所 (居所)ヒロシマ シノメホンマ
広島市東雲本町一丁目 1-13フリガナ (法人にあっては名称)
氏名 (および代表者の氏名)カ イ エ シ
会 田 英 次 ㊞

4. 添付書類の目録

- (1) 明細書
(2) 図面
(3) 願書副本
(4) (出願審査請求書)

1 通
1 通
1 通
(通)方式
審査

54 052054

152164

1 考案の名称 鼓形安楽マットレス

2 実用新案登録請求の範囲

このマットレスは第2図に示す如く横断面にした場合に鼓形状となり横中心部の上下を起点として薄く上下とも左右に扇状の直線勾配で両側を厚くしその角度は10度を中心とした前後の適当な角度を算出す、マットレスの片面は半円球のイボ(2)を全面的に多数浮き彫りにした凹凸面状とし反対の片面は縦に波形状(3)とし両面を通じて多数の空気孔(4)を設ける。マットレスは中央の薄い部分で左右に分離出来る様2分しマットレスカバー(5)の縦目にチャック(6)を取付け組合せさす。

3 考案の詳細な説明

この考案は一般のマットレスと違い、鼓形で両面どちらも左右斜め横向きに寝ることの出来る特徴がある、第2図の横断面で示す如く鼓形状で横中心部を起点として薄く上下とも左右に扇状の直線勾配にて両側を厚くし、その角度は10度を中心とした前後の適当な角度

にして材質は少し堅めの弾力性あるスポンジ状の物質を使用す。第1図及び第3図に示す如く身体の重量により波形の下部が平面になれば上部は反対にV形状となり波形のときより約倍率に近い角度となる。このマットレスは好みにより両面どちらでも使用出来、一方の片面には半円球のイボ(2)を全面的に多数浮き彫りにした凹凸面状とし身体がイボに当る部分は体重により無理のない自然的な指圧作用を行ない肢体の疲れを柔らげ血行を良くし、又反対の片面は波形面(3)とし両面を通じて空気孔(4)を多数設ければ寝汗の湿気に対する蒸発を早めることが出来る。普通上向きに寝た場合は第4図のプラスチック製の枕受台を使用すると便利である。脊骨はマットレスの中央谷間に受けられ余り圧迫を感じず、ことに脊椎カリエスで骨が変形した人には楽な姿勢が出来る。又斜め右横向きに寝た場合は体重の圧力は斜面左り片方のマットレスにかゝり右方の肩、腕にはほとんど圧迫を感じない。

斜め左横向きの場合も同様で特に心臓に対する圧迫感もなく両面とも身体が凸面以外は空間と空気孔が多いため密着しないので夏の季節でも楽に長時間寝ても健康的安眠が出来る。マットレスは第1図で中央の薄い中心部で左右に分離出来る様2分しマットレスカバー(5)の縦目にチャック(6)を取付け組合せさす。2分した片方のマットレスを長椅子の上に使用すれば一時的安眠にも便利である。特に船舶用にも適している。

4 図面の簡単な説明

第1図は波形状が体重によりV形状に変化した斜視図、第2図は波形状の横断面図、第3図は第1図のA-A横断面図、第4図は枕受台の斜視図、

1 …… マットレスの本体 2 …… 半円球のイボ 3 …… 波形面状 4 …… 空気孔 5 …… マットレスカバー 6 …… チャック 7 …… 枕受板 8 …… 枕ズレ止め板 9 …… 空洞

実用新案登録出願人 会田英次

図 1

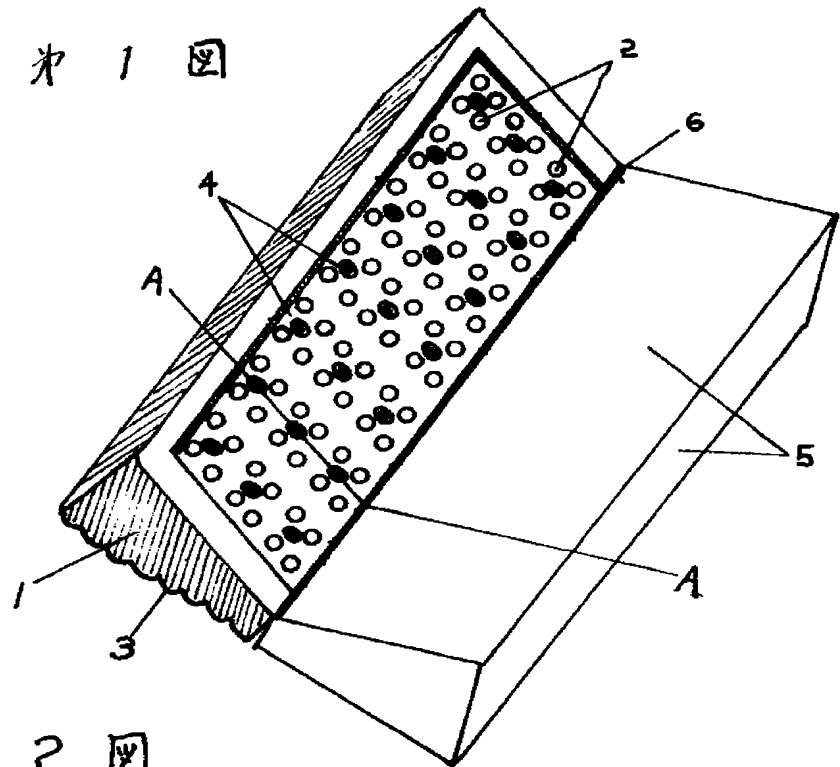


図 2

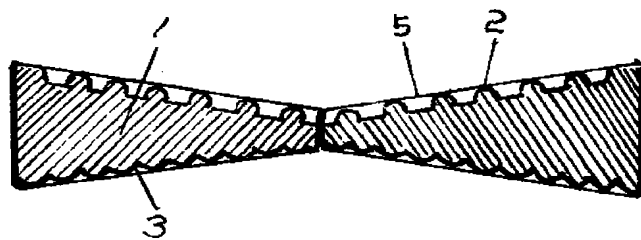


図 3

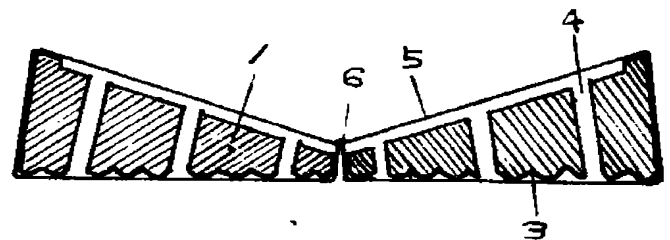
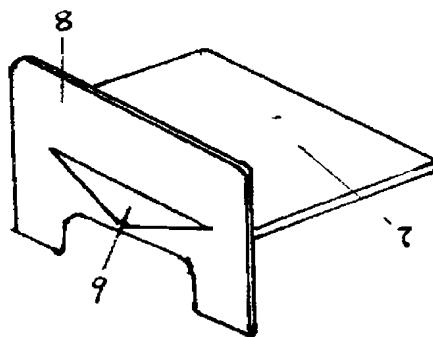


図 4



実用新案登録出願人 会田英次